

# メディアは 全ての人権のため 隠された真実を暴け

## 辺野古新基地建設問題について

シンポジウム

# 2月18日(日) 13:30~16:30

(開場 13:00~)

# 沖縄大学 3号館 101 教室

資料代 500円

オンライン参加 無料 (要事前申込)



吉川秀樹さん

Okinawa Environmental Justice Project 代表、ジュゴン保護キャンペーンセンター国際担当として、沖縄から海外への情報発信を継続。新崎盛暉平和活動奨励基金受賞。

Message

2023年10月、OEJPは米国情報公開法を使い、辺野古新基地建設場所の脆弱地盤問題に関する国防総省独自の分析評価について、情報公開請求を行った。その結果と基地問題の解決に向け沖縄の市民社会から米国政府に訴えていくことの重要性について報告する。



浦島悦子さん

ヘリ基地いらない二見以北十区の会共同代表。著書「名護の選択—海にも陸にも基地はいらない」インパクト出版会(2010)など多数。

Message

辺野古新基地建設は、4半世紀以上にわたって地元住民・沖縄県民を苦しめてきた。新基地建設は、平和、民主主義、地方自治、自然環境、伝統文化、地域コミュニティのいずれをも根底から破壊するものであるが、その実相について地元から報告する。



徳田博人さん

琉球大学人文社会学部教授、論文「沖縄の民意と地方自治：いのちの地域思想と平和の創造」法と民主主義(2022)など多数。

Message

辺野古新基地建設の問題は、公平性を欠く法運用、司法の機能不全、地方自治の侵害など、国家が遵守すべき法の支配の原則を「国」自身が破壊している点にある。したがって、辺野古のたたかいは、日本を健全な国家にする闘いでもある。



真喜志好一さん

建築家、沖縄平和市民連絡会共同代表。共著「沖縄はもうだまされない」高文研(2000)、「オスプレイ配備の危険性」七つ森書館(2012)。

Message

米軍は、1960年代に辺野古海岸を埋め立て、飛行場と港を建設する計画を立てた。この計画は財政難のため断念されたが、1990年代後半に普天間飛行場の代替施設という名目で、日本政府が辺野古新基地を建設することになったのである。

2月17日(土) 辺野古・大浦湾見学ツアー 参加費 2000円

(海上視察を含む)

申し込み締切/  
2月10日(土)

# 沖縄を聴く

# 沖縄を知る

絵：牧瀬茜

今、沖縄・琉球弧の島々には、米軍の新たな基地建設だけではなく、次々と自衛隊基地の建設が強行され、ミサイル部隊が配備され、武器弾薬が運び込まれています。そして日本政府は沖縄の住民の民意を踏みにじって辺野古の埋立工事を強行しています。

日米両政府は普天間飛行場を返還する代替が辺野古であると説明していますが、米軍は

辺野古に飛行場と軍港を作る計画をベトナム戦争時の一九六六年に立案していたことも判明しています。

私たちは辺野古の問題に集中して、地域住民の声、行政法の専門家、海外への働きかけなどを聞き、辺野古の飛行場建設、軍港建設を食い止める道を考えるシンポジウムを企画しました。

ぜひ御参加ください。

## 辺野古の海、大浦湾の海を見るツアーを企画しました。

2024. 2/17(土) 参加費 2000円 (海上視察を含む)



MARINE CORPS AIR FACILITY  
FUTENMA AIR BASE  
1966年の辺野古埋立空港建設計画  
マスタープランより

申込締切 2/10(土)

ツアーの詳細・申し込みは、「**沖縄・琉球弧の声を届ける会**」メールから  
✉ okinawaryukyuko@gmail.com

☎ お問合せ

☎ 090-6868-6232 (桑江)

🌐 <https://info200921.wixsite.com/ryukyusvoice>



### 日程表

- 9:00 ○ 沖縄県庁前 県民広場 **バス 出発**  
● 普天間飛行場を見下ろす  
● 嘉数高台公園を經由して 辺野古訪問、大浦湾見学
- 13:00 ○ グラスポートでサンゴの海を見る **辺野古新基地工事現場見学**
- 18:00頃 ○ 沖縄県庁前 県民広場 **バス 帰着**

### ご寄付・カンパのお願い！

振込先 沖縄銀行泡瀬支店 普通 1941039  
オキナワ・リュウキュウコノコエヲドケルカイ  
(沖縄・琉球弧の声を届ける会)

PeatixにてWebからオンラインで寄付も受け付けます  
詳しくは以下サイトから  
<https://peatix.com/event/3796935/view>

参加申込・ご寄付は  
Peatix サイトより



### ハイブリット配信

会場 沖縄大学 3号館 101 教室

定員 先着 100名 資料代 500円

オンライン ZOOM (申込必須)

参加費無料

※ 後日、「沖縄・琉球弧の声を届ける会」  
Youtube チャンネルにアーカイブ配信予定です。

### 会場アクセス



沖縄大学 那覇市字国場 555

大学駐車場有り

バスをご利用の場合 市内線 那覇バス 6番

市外線 (那覇バスターミナル乗車)

35番 40番 309番 235番

賛同団体 泡瀬干潟を守る連絡会、沖縄環境ネットワーク、嘉手納ピースアクション、基地・軍隊を許さない行動する女たちの会、ジュゴン保護キャンペーンセンター、ノーモア沖縄戦命どう宝の会、日本ジャーナリスト会議、日本ジャーナリスト会議沖縄、平和市民連絡会、ヘリ基地反対協議会、ミサイル配備から命を守るうるま市民の会、NPO 法人奥間川流域保護基金、普天間基地爆音訴訟団、有機フッ素化合物 (PFAS) 汚染から市民の生命を守る連絡会 (1/19 現在) ほか、依頼中